

## 事業所における自己評価結果（公表）

事業所  JSS水夢八尾

公表日  2019年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		マットや壁、視覚的な情報を交えて空間や時間を整理している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用時間の前後で掃除を行い、清潔を保ち物的なリスクがないかの確認を行っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果に基づく保護者等の意向等を、職員全体で把握し業務改善に繋げていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		本アンケート結果をホームページ等で公表していく予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は実施していないが、外部講師による評価を踏まえた研修等により、業務改善につなげていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修に積極的に参加したり、事業所にて外部講師の研修を行い、療育での実践等に活かしていきたい
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントや支援計画については保護者からの情報収集を行ったり、お子様の状況等を踏まえて、職員で話し合いを行い多面的な視点を持って作成している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査、知能検査の実施をこないアセスメントに活用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年間の活動プログラム立案を職員で会議を行った後に作成している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせた活動、屋内外の活動、静動の活動等、様々な体験が出来るよう立案している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		様々な活動でのお子様の様子を把握して支援計画を作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		週案作成によって職員が療育のねらいを把握しておけるようにしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		療育前、療育後にミーティングを行うことで支援内容の反省や振り返り、次回に向けて等、職員で情報共有を行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌については内容を支援に繋げていけるように、より分かりやすい内容に改善したい
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			今後より丁寧な見直しを行いたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携 関係機関 や保護者 との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		今後会議を定期的に行いたい
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		紹介元の機関や関係機関との連携を密に行いたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・紹介元、園、保護者等、お子様を取り巻く関係機関との連携を今後より一層密に行いたい ・本事業所が関係機関と連携をとる体制にあることが保護者様に周知いただけていないことが明らかとなったため、契約時の説明だけでなく、必要に応じて連携についてより丁寧な説明を行いたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後、専門機関との連携を積極的に行ったり、研修参加をしたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流の場を計画していきたい
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お子様の送り出し時の保護者様との会話の時間を大切にしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		外部講師によるプログラムなど今後考えていきたい
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規定や利用者負担、本事業所が提供できる支援内容等については契約時に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別相談の希望があればお受けしたり、日々の保護者様との会話を大切にしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に保護者会を実施している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申入れがある場合、その場での迅速な対応を心掛け、職員間での共有と対応の振り返りを行い、新たな案がある場合、再度保護者様にお返すといった対応をしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回お便りの配布を行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳等での情報共有の方法もとっている	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域に開かれた事業運営の方法を考えていきたい	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		お便りによる対応方法の配信や、避難訓練等を月に1回実施している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回避難訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に事前に書類記入をしていただいて、職員間で共有し把握している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギー物質除去のおやつを提供を行っている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		今後虐待についての研修も取り入れて虐待防止に対する意識を高めて行きたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。